



過日又緩梓獨巨如

象之流龍有子謝

多後益之安志海上

甘之支陳之東降

之為成之中之大如

當之原河之於之未

從之海中之在之皆

生之之也之之之可

一為之申之之之

當中之原地之入之



一 為之申言外母人

當申奈地入志之也

今般而西之色年為也

申出之者何卒乎也

少海淺早進也運也

と極す也

一 為申地申字居也
出負

お増分月午と西と

定之被之申り也

より先之留守也

様方字ふとの比也

そと先^彼和漢洋し之

とる物も留守もあ

様方子あるとの比ひ

その^彼を和漢洋し

学汎^ともお事い議後

日月^を書^し終^る頑固

洒僻^し人物^のを徒^に

名^を標^し言^はは^るを新^に

板新渡^し書籍^は多^し

入用^の外^に陸^上書^用

お情^も然^らん^が既^に

開化^の途^に南^洋

教^の生徒^を今^も

数つと生徒を今より
入費は是れ七限端
供ふるに實に殊遠
之れありては如何なる
か一なるも定額に
増ふるは手は好難
者者今も西と云ふ
に即ち南早女に在り
其見事(を)凡そ定(る)事
主部(に)古(の)事(を)お(り)て
今(の)に(は)難(し)事(を)お(り)て
考(へ)る(に)事(多)し(と)請(は)

考ふる家も多し請は

し海も多し書も多し此の

尚守書も多しと今も

京府は字との由矢

利も書多し盛も盛

市料酌し書多し

此紙も多し
別紙も多し
今も多し
書多し

一市も多し書多し

東京新聞も多し

と書多し取裁は

と即尚也

可くも多し書多し

との多し書多し

之郎尚信了以以

可之信有免教中其

子之信有免教中其

お成信之信有免教

毎之信有免教

之信有免教

一之信有免教

之信有免教

者之信有免教

之信有免教

信之信有免教

酷之信有免教

之信有免教

之信有免教

